

JIS

安全靴・作業靴の耐滑試験方法

JIS T 8106 : 2016

平成 28 年 3 月 25 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 保安技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神 山 宣 彦	東洋大学
(委員)	小 野 真理子	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	利 岡 和 範	日本安全靴工業会
	根 岸 公一郎	株式会社千代田テクノル
	野 原 由樹子	日本防護服研究会
	松 村 不二夫	公益社団法人日本保安用品協会
	由 野 友 規	建設業労働災害防止協会

主 務 大 臣：厚生労働大臣，経済産業大臣 制定：平成 28.3.25

官 報 公 示：平成 28.3.25

原案作成協力者：公益社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：保安技術専門委員会 (委員長 神山 宣彦)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成協力者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 装置及び使用材料	2
5 試料の抽出及び前処理	4
5.1 抽出	4
5.2 前処理	4
6 試験方法	4
6.1 原理	4
6.2 試験モード及び試験条件	4
7 靴及び床の準備	8
7.1 靴	8
7.2 床	9
8 手順	10
9 試験報告	11
10 耐滑靴の選定方法	11
附属書 A (規定) 靴の試験のための標準製造用靴型及び人工足	12
附属書 B (規定) セラミックタイルの仕様	13
附属書 C (規定) セラミックタイル及び他の試験床の校正手順	14
附属書 JA (参考) 床面上に粉体が介在する場合の耐滑靴の選定	17
附属書 JB (参考) 氷面上で使用する耐滑靴の選定	18
附属書 JC (参考) 動摩擦係数の高い耐滑靴の選定	19
附属書 JD (参考) JIS と対応国際規格との対比表	20
解 説	22

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

安全靴・作業靴の耐滑試験方法

Test method for slip resistance of protective and occupational footwear

序文

この規格は、2012年に第2版として発行されたISO 13287と整合化を図ることを主な目的として作成した日本工業規格である。また、転倒防止の面から粉体上及び氷面上で使用する耐滑靴の選択方法、及び高い耐滑性能をもつ靴に対する問題点及び注意事項を附属書に記載し、ユーザーが着用環境に少しでも適合した安全靴及び作業靴を選択できるようにしたものである。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JDに示す。

1 適用範囲

この規格は、製造業、建設業、運輸業、食品小売業などの事業場において使用する安全靴及び作業靴の耐滑試験方法について規定する。

スパイク、金属びょう（鋌）及びその類似品が装着された靴には適用できない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 13287:2012, Personal protective equipment—Footwear—Test method for slip resistance (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0601 製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：輪郭曲線方式—用語、定義及び表面性状パラメータ

注記 対応国際規格、ISO 4287, Geometrical Product Specifications (GPS)—Surface texture: Profile method—Terms, definitions and surface texture parameters (IDT)

JIS K 6253-2 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—硬さの求め方—第2部：国際ゴム硬さ（10 IRHD～100 IRHD）

JIS S 5037 靴のサイズ

ISO 4662, Rubber, vulcanized or thermoplastic—Determination of rebound resilience

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。